

代表質問

6月定例会では、8つの会派が代表質問を行いました。代表質問を行った会派の名称、発言順及び発言時間は次のとおりです。

緑風会第1(102分)、無所属の会(138分)、緑風会第2(84分)、立憲民主・社民(84分)、創生市川(174分)、公明党(174分)、自由民主党(84分)、日本共産党(120分)

※QRコードから代表質問の動画をYouTubeにてご覧いただけます。



中核市を目指す市川市(国府台方面より撮影)

中核市への移行

問 本市が中核市に移行することによる財政負担は年間約24・6億円とのことであるが、移行しても普通交付税の不交付団体のままであり、歳入の増が見込めないため、市は政策的経費を削る等、既存の行政サービスを低下させるのではと危惧している。そもそも、県から移譲予定の事務の原資は市民が納付する県民税で

答 あり、移行後も市民は県民税を払い続けるため、中核市への移行は非常に不合理な選択である。そこで、インシヤルコストを含めた移行に当たっての財政負担増について、市はどのような収支均衡を図るつもりか。

答 中核市移行に際しては、安定的な歳入を確保することが重要であるため、市税等の自主財源について早期収納に努める他、新たな歳入の確保についても研究していきたいと考えている。加えて、歳出面では新たに

無所属の会

増田 好秀 (総括質問者)
長友 正徳
佐直 友樹
石原よしのり
秋本のり子
越川 雅史

市長「私設秘書」の逮捕

問 マスメディアの報道によると、令和3年5月24日村越市長の「私設秘書」が虚偽の情報を法務局に提出し、会社を登記させたとして、千葉県警に逮捕されたとのことである。加えて、県警により市長の後援会事務所の家宅捜索及び複数の本市幹部職員が任意での事情聴取を受けたことなどにより市職員や市民に衝撃が

答 3年5月24日に県警が来庁し、市長の「私設秘書」と報じられている人物が逮捕された旨を初めて伝えられ、副市長2名及び数名の職員が事情聴取を受けたところである。当該人物の逮捕は、あくまでも私人の活動に関するものであり、市としてコメントやメッセージを発する予定はない。また、市政とも関係がないため、市長が議場においてコメントやメッセージを発することはない。

県から移譲される事務について、県の事務処理方法を踏襲するのではなく、事務内容や事業費を精査し、関連事業との統合を図ることによってコスト削減に努めたい。また、保健所や動物愛護センターの設置に伴う建設費に係る財源には、市が所有する資産や市債等を活用する等、適切な財政運営を行うていきたいと考えている。

広がっている。そこで、県警による任意の事情聴取の状況を問う。また、このような困難な状況下では、行政サービスを滞滞させないためにも、市役所等が起きていないのかを、トップリーダーである市長が説明責任を果たし、市職員や市民に知らせる必要があると考えるが、市長によるメッセージは何かないか。

緑風会第2

松井 努 (総括質問者)
石原みさ子
松永 鉄兵

重度心身障がい者への支援

問 医療的ケアを要する重度心身障がい者を介護する家族の負担軽減等のため、ショートステイ施設の整備が急務だが、当該施設の開設を後押しする実効的な方策としてどのようなことが考えられるか。また、重度心身障がい者は、高校卒業後、自宅近くの通所施設を利用することが一般的だが、近年は通所施設の定員に余裕がない状況が続いている。そこで、市内通所施設の受

設を後押しする実効的な方策としてどのようなことが考えられるか。また、重度心身障がい者は、高校卒業後、自宅近くの通所施設を利用することが一般的だが、近年は通所施設の定員に余裕がない状況が続いている。そこで、市内通所施設の受

立憲民主・社民

中町 けい (総括質問者)
つちや正順
かつまた竜大

児童の熱中症・感染症対策

問 国は3密以外の過度なマスク着用、特に健康に影響が出るような場面でのマスクの着用は必ずしも推奨していない。一方、熱中症や脱水症状が心配される炎天下でも、子どもたちは新型コロナウイルス感染症防止のためマスクを着用しており、運動会や体育祭は本番当日以外にも炎天下で練習をすることも多い。そのため、子どもたちの健康や安全に影響がないよう指導されているのか心配する声が多く寄せられている。そこで、感染症対策として運動会や体育祭のマスクの着用について、本市ではどの

答 ように指導しているのか。マスクに関する指導は、市のガイドラインにおいて基本的には着用を推奨しているが、運動の量、内容、気候等によっては、マスクを外すこともできるようにしている。また、マスクを着用する際は、こまめな水分補給をして、熱中症対策に努めることも明記している。しかしながら、気温が上昇し、熱中症のリスクが高まっていることから、今後暑さ指数の高い場合や激しい運動の際には、教師の方から、マスクを外す指示を出すと共に、児童が自らの体調等を判断して、マスクの着脱が適切にできるよう、各学校に指導していきたいと考えている。

け入れ状況を改善するための市の施策について問う。

答 ショートステイ施設の新規開設を後押しするための方策としては、施設が重度心身障がい者を受け入れる際に必要な機器等や、人材確保に係る人件費の一部に対する補助等が考えられる。また、本市では令和4年度以降も毎年数名が通所施設の利用を希望することが見込まれるため、通所先の確保は喫緊の課題である

と認識している。特に通所施設からは看護師等の確保が困難であるとの声が寄せられているため、例えば、常勤看護師を1名以上雇用する場合の補助、直接雇用ができない場合は、人材派遣会社等から看護師を派遣してもらい、その人件費と派遣にかかる経費の差額分の補助、あるいは必要な医療機器の購入費の補助等について検討していく。



医療的ケアを受ける通所者の様子



炎天下で行われる運動会(イメージ)